

大地のアーキテクチャ  
カルトグラフィーの歴史と測地系の成立

東京大学総合研究博物館 准教授  
森 洋久

1. 地図の多様性について

最近、地図に触れる機会が少なくなっている。

乗り換え案内等で、指示された通りに移動するだけ。地図も見ない。

ひと昔前 Google map / yahoo map / カーナビ

さらにひと昔前 道路地図

地図とはなにか

2. 地図から見えてくること

京都の街区と札幌の街区

3. 海野和隆 地球説

地球は球体をしている。

あらゆる場所は、経緯度という統一された座標で位置を示すことができる。

ギリシャ — イスラム — ヨーロッパ というシナリオ

国家の全貌 = フランス図、国絵図

宇宙から地球を見たい = 地球の真の姿の追求

帝国地図学 = フランス、英国の植民地政策と測量術の発展 測地系

GPS (Global Positioning System)

4. 地図を重ねる



Κλαύδιος Πτολεμαῖος c.83-168 “Γεωγραφικὴ Ὑφήγησις”

Claudius Ptolemaeus c.83 - 168 “Geographia”

プトレマイオスの『地理学』より、世界全体の図。プトレマイオスは、世界で初めて経緯度の概念を一つの図法として、地図に描いたとされる。プトレマイオス自身の『地理学』は現存せず、現存する古写本は13世紀のものである。



Abu Abdullah Muhammad al-Idrisi al-Qurtubi al-Hasani as-Sabti 1100 – 1165

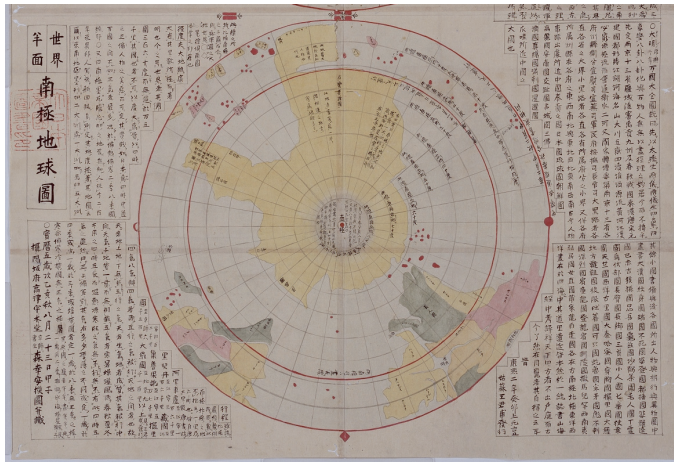
ムハンマド・アル＝イドリースィー。12世紀におけるイスラム世界で、世界地図を描いたカルトグラファー。本図は、南が上部に描かれており、アラビア半島を中心に、西はヨーロッパ、東は中国まで描かれている。



Giulio Sanuto 1540~1588 “Sanuto globe gores”

サヌートは、16世紀イタリアの製図工、彫刻家であった。本図は、地球儀のために、12枚の

短冊状の図葉をデジタル的に接続し一枚の世界図にしたものである。オーストラリア、南極、南米が一つの巨大な大陸になっている。これらの地域の詳細がわかるのは 18 世紀の有名なキャプテンクック (James Cook) の世界旅行を待たねばならない。



森幸安 1701～? 『世界半面南極地球圖』

森幸安は、鎖国の時代、世界中の地図を様々なツテを利用して閲覧し、模写し、収集した日本のカルトグラファー。その中の一つで、正距方位図法と思われる南極と北極のペアのうち南極の部分。アメリカ大陸が描かれており、また、オーストラリアが南極大陸と繋がっていることがわかる。